



刊行図書のご案内

公益財団法人大阪府文化財センター調査報告書 第222集

瓜生堂遺跡 4・岩田遺跡 2・花屋敷遺跡 3

近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書



出土遺物（巻頭カラー図版より）

価 格：1,234 円（税込）

送 料：宅急便 ※地域別料金

刊行日：2012 年 2 月

判 型：A4

頁 数：本文 243 頁、巻頭カラー図版 2 頁、写真図版 112 頁

重 量：1,420g^ラ

本書は、近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化（第Ⅱ期）工事に先立つ発掘調査の成果報告です。今回の調査では、第Ⅰ期工事に先立つ調査において確認された各遺構面が南方向へ広がることを追認しました。

瓜生堂遺跡及び岩田遺跡の調査では、弥生時代前期、弥生時代中期初頭、弥生時代中期後半、弥生時代後期～古墳時代初頭、中世の各遺構面を確認しました。弥生時代前期遺構面では竪穴建物をもつ集落跡を、弥生時代中期初頭遺構面では畦畔を伴う水田面を確認しました。弥生時代中期後半遺構面では土器棺墓を新たに発見し、棺内より人歯の出土をみました。弥生時代後期～古墳時代初頭遺構面では、流路や集石遺構、水田跡を検出しました。中世遺構面では、掘立柱建物や井戸を多数伴う集落跡を確認しました。

花屋敷遺跡では、大溝を伴う中世集落跡の広がりを確認しました。中世後期遺構面では銭貨埋納遺構を検出し、計 15,392 枚を数える銭貨が一括出土しました。大阪府内における稀少な事例として注目されます。